

2010年岳沢合宿 前半戦

日時:2010/05/01-03

メンバー:坂本,木下(05/01-03 早朝),的埜(05/02-03),花里,犬塚

行程:

05/01 合庁 5:00=(車,100km)=沢渡 7:30=(タクシー,¥4,000/台)=上高地 8:10,8:20-岳沢 11:50

05/02 岳沢 3:50-西穂高岳 8:50-岳沢 12:50

05/03 岳沢 3:40-前穂高岳 7:40-岳沢 9:40,12:10-上高地 14:10=(タクシー)=15:10=(車)=1740

5/1(Sat)

3:30起床,5:00合庁集合.先発隊は負傷部隊だと坂本さんがガハハと笑う.僕も釣られてガハハと笑う.今回は楽しい山行になりそうだ.車・タクシーを乗り継いで上高地 8:10到着.



準備を整え 8:20 上高地出発.



雲で穂高の稜線は見えないが,その方が想像がかきたてられてよいのかもしれない.負傷部隊はゆっくりと,でも,確実に高度を上げていく.途中村山さん組とすれ違う.



西穂沢(写真中央)を登っているパーティーが見える.村山さんの話では,前日に20cmの新雪が降ったそうだった.坂本さんの話では,その雪も今日一日で落ち着くだろうとのことだった.



2mを越すブロック状の雪の塊が壘岩(写真中央)にゴロゴロとあることもあるそうだが,今年はさっぱりなくなっていた.

11:50 テント幕営地に到着.



雪が硬く、整地するのに難儀した。



前穂方面も綺麗に見える。テント幕営地裏の斜面で雪上歩
行を中心とした極簡単な雪上訓練を行い、早々に宴会はス
タートした。坂本さんの話はいつまで聞いていても飽きそうも
なく延々と聞き耳を立てていた。20:00 就寝。

5/2(Sun)

2:00 起床, 3:50 出発。今日の目的地は西穂だ。急な西穂
沢を延々と詰める。



前日のトレースはあるが、スタンスが広く、使いづらい。



自分は使いづらくも、強引に使って登ったが、花里さんは新
たにラッセルしていた。膝下まで埋まり、悪戦苦闘していた。



稜線直下が最も傾斜がきつかった。



明日登る予定の前穂も綺麗に見える。奥明神沢(写真右
側の大きな沢)を詰め、登頂する予定だ。



稜線を詰め、西穂の頂上に立つ。何だか分からないけど、ちょっと泣きたくなった。



西穂頂上到着 8:50。足の不安を訴えていた坂本さんも登頂できて万々歳だった。



奥穂の迫力はハンパなかった。山頂は狭く、後発のパーティーがドシドシと押しかけたためすぐに頂上を後にした。



頂上直下の下りはやや急で高度感もあったこともあり、訓練も兼ねてロープで確保しながら下降した。西穂沢の下りもスタンディングアックスビレイの訓練をしながら下山。尻セードで下る人もいたが、ヤッケが痛むのが嫌だったから普通に下山した。



訓練をしながらだったので、時間も掛かり12:50帰営。間もなく後発の的壱さんとも合流。



登頂記念&入山祝いの宴のスタート。話が盛り上がり過ぎて、21:00就寝。

5/3(Mon)

2:00起床, 3:40出発。坂本さんはテント番・木下さんは一足早く下山ということで、的壱さん、花里さん、犬塚の3人パーティー。今日は奥明神沢経由の前穂だ。



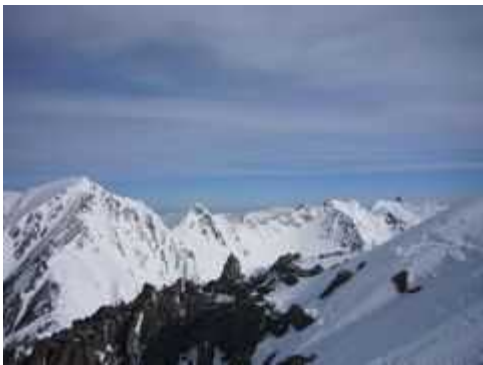
今日のトレースは程よい歩幅でどんどん高度を稼ぐ。



この斜面での滑落の話を知っていたので、ちょっと不安になった。気を引き締めて登ることとする。



明神岳も素晴らしい。明神岳東稜に登っているパーティーも見えた。奥明神沢上部を左に折れてからは傾斜のきつい斜面が続いた。7:40 登頂。積雪多く、看板はまだ雪の下のようにだった。



奥には槍も見える。



下る頃には、列をなして登る方々とすれ違った。9:40 帰營。

竹バーでの支点・グリップビレイなどの訓練・評価をやっていると、後発隊が到着した。引き継ぎを行い、雪を投げつけられながら、12:10 下山開始。入山時と比べて雪はかなり溶けていた。14:10 上高地到着。



上高地は人また人。途端に下界に戻ってきたことを突き付けられる。タクシー・車と乗り継いで 17:40 合庁。

合宿前半は天気にも恵まれ、最高の合宿でした。この合宿を次のステップへと進む機会にすることを心に決めながら、筆を置くとする。